



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
コード番号 6112 URL <http://www.kojimatekko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 正蔵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 田中 教司

TEL 027-322-1221

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	767	△11.0	△254	—	△240	—	△241	—
25年11月期第2四半期	862	5.4	△84	—	△64	—	△65	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	△24.12	—
25年11月期第2四半期	△6.51	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	3,076	579	18.8
25年11月期	2,973	823	27.7

(参考)自己資本 26年11月期第2四半期 579百万円 25年11月期 823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	2,000	—	5	—	15	—	10	—	円 銭 1.00

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年11月期2Q	10,035,647 株	25年11月期	10,035,647 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年11月期2Q	41,374 株	25年11月期	40,254 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	9,994,701 株	25年11月期2Q	9,996,463 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な手続に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値の異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付書類】P2.「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社売上高に関しましては、当社の主製品である油圧プレス機が、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たり金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては一部工事進行基準を適用しておりますが、当114期第2四半期累計期間における売上高につきましては、発注の取消はありませんでしたが、発注先の計画変更等客先都合に伴う納期のズレコミが発生したこと等で、前年同期8億62百万円から7億67百万円と減少止むなきに終わりました。

利益面につきましては、引き続き原価や人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、好採算物件の確保が困難な状況下にあることや、大型製品の据付費・現地工事費等予想外の追加費用が発生したため、遺憾ながら前年同期65百万円の損失を大きく上回る2億41百万円となりました。

なお、受注状況につきましては、第2四半期累計期間の受注高は、受注競争激しい中にありながらも、これまで折衝中であつた引き合い物件の成約により、前年同期(4億20百万円)の倍増となる8億88百万円の受注を確保でき、下期の売上増加に期待をかけているところでございます。受注残高につきましても、残念ながら前年同期(15億59百万円)には及びませんでした。11億24百万円の大台を維持できております。現在、国内外を中心に大型案件の引き合いが浮上しており、この成約に向け努力し一層の受注増加を目指しているところであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期の財政状態については、資産合計は、前事業年度末に比べ、1億3百万円増加し、30億76百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が1億20百万円減少したものの、現金及び預金が2億42百万円増加したことによります。

負債合計は、前事業年度末に比べ、3億46百万円増加し、24億96百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が70百万円減少したものの、短期借入金が2億77百万円及び前受金が1億6百万円増加したことによります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ、2億43百万円減少し5億79百万円となりました。これは主として、利益剰余金が2億41百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年1月10日に公表した当第2四半期累計の業績予想については、平成26年6月27日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

尚、現時点での業績予想につきましては、平成26年6月27日に公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当ありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,823,430	2,065,499
受取手形及び売掛金	333,030	212,849
原材料	24,158	32,678
仕掛品	23,475	18,251
その他	7,113	11,707
流動資産合計	2,211,208	2,340,986
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	273,263	262,529
その他(純額)	427,869	417,928
有形固定資産合計	701,134	680,457
無形固定資産	17,272	11,545
投資その他の資産	43,771	43,615
固定資産合計	762,178	735,619
資産合計	2,973,387	3,076,605
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	578,403	507,643
短期借入金	1,258,551	1,535,940
リース債務	16,745	9,844
未払法人税等	2,640	1,710
前受金	81,152	187,850
賞与引当金	—	41,000
その他	47,474	47,092
流動負債合計	1,984,967	2,331,080
固定負債		
退職給付引当金	60,563	63,531
リース債務	1,836	365
その他	102,908	101,748
固定負債合計	165,309	165,645
負債合計	2,150,276	2,496,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,782	501,782
資本剰余金	5,373	5,373
利益剰余金	316,299	75,162
自己株式	△5,508	△5,631
株主資本合計	817,946	576,686
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,780	3,193
繰延ヘッジ損益	1,383	—
評価・換算差額等合計	5,163	3,193
純資産合計	823,110	579,880
負債純資産合計	2,973,387	3,076,605

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	862,605	767,674
売上原価	814,408	884,602
売上総利益又は売上総損失(△)	48,197	△116,928
販売費及び一般管理費	132,907	137,548
営業損失(△)	△84,710	△254,476
営業外収益		
受取利息	35	49
受取賃貸料	31,676	31,176
為替差益	7,101	563
その他	6,274	7,668
営業外収益合計	45,087	39,456
営業外費用		
支払利息	11,155	11,382
不動産賃貸費用	13,801	13,774
その他	38	—
営業外費用合計	24,995	25,156
経常損失(△)	△64,618	△240,176
税引前四半期純損失(△)	△64,618	△240,176
法人税、住民税及び事業税	476	961
法人税等合計	476	961
四半期純損失(△)	△65,094	△241,137

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社は、プレス機械のメーカーとして単一の事業を営んでおります。従いまして、セグメント情報の記載を省略しておりますので、以下に関連情報につき記載いたします。

[関連情報]

1. 製品及びサービスに関する情報

前第2四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

(単位:千円)

	プレス	その他の機械工事	合計
外部顧客への売上高	858,302	4,303	862,605

当第2四半期累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

(単位:千円)

	プレス	その他の機械工事	合計
外部顧客への売上高	766,198	1,476	767,674

2. 地域に関する情報

前第2四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

(単位:千円)

日本	アジア	米国	合計
796,253	64,738	1,614	862,605

(注)有形固定資産はすべて国内に所在しており、海外に所在するものではありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

(単位:千円)

日本	アジア	米国	合計
754,281	10,792	2,600	767,674

(注)有形固定資産はすべて国内に所在しており、海外に所在するものではありません。

3. 主要な顧客に関する情報

前第2四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

顧客の氏名又は名称	売上高(千円)
岩井機械工業㈱	47,016
PT Honda Prospect Motor	60,500
関東精密鋳断㈱	37,600
㈱古河テクノマテリアル	33,500

当第2四半期累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

顧客の氏名又は名称	売上高(千円)
㈱富田製作所	313,205
理研鍛造㈱	95,860
岡谷鋼機㈱	72,490

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報]

前第2四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

該当事項はありません。

(1) 生産、受注及び販売の状況

製品別売上高・受注高・受注残高

(単位:千円未満切捨表示)

製品別	前第2四半期累計期間 (第113期)		当第2四半期累計期間 (第114期)		増減		
	金額	%	金額	%	金額	%	
製品売上高	プレス	858,302	99.5	766,198	99.8	△92,104	-10.7
	その他の機械工事	4,303	0.5	1,476	0.2	△2,827	-65.7
	合計	862,605	100.0	767,674	100.0	△94,931	-11.0
	(うち輸出)	(66,352)	(7.7)	(13,392)	(1.7)	(△52,960)	(-79.8)
受注高	プレス	419,256	99.7	886,781	99.8	467,525	111.5
	その他の機械工事	1,343	0.3	1,476	0.2	133	9.9
	合計	420,599	100.0	888,257	100.0	467,658	111.2
受注残高	プレス	1,489,978	95.6	1,124,521	100.0	△365,457	-24.5
	その他の機械工事	69,300	4.4	—	—	△69,300	-100.0
	合計	1,559,278	100.0	1,124,521	100.0	△434,757	-27.9

(2) 設備投資、減価償却費、研究開発費の推移

設備投資、減価償却、研究開発費の推移については、開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。